

平成28年度行政評価 事務事業評価シート(平成27年度実績)

事務事業コード	030301090	予算コード	01081290	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業		正規職員数	0.01	国庫支出金	1,298	有効性	A	その時々 ¹ の社会情勢や家庭を取り巻く環境によって、子育て世代が抱く悩みや不安は刻々と変化するが、児の健やかな成長を実現するためには、時世や家庭環境に応じた育児サポートは不可欠である。また、虐待の早期発見や予防には重要な機会であり、事業が果たす社会的意義は大きい。
担当課	保健センター		嘱託職員数	1	府支出金	1,298			
根拠法令等	法定受託事務		臨時職員数	0	市債	0	効率性	B	
	■法律・政令・省令		歳出(千円)		その他	0	妥当性	A	
	児童福祉法		人件費総額	4,143	一般財源	3,580	受益者負担	該当なし	
					減価償却費	0			
					事業費	2,033			
事務事業類型	運営事業		フルコスト(千円)	6,176		緊急性	B	事務事業実施内容	
実施手法	一部委託		市民1人当たりコスト(円)	61				平成23年度6月より家庭訪問を開始した。年々出生数が減少しているが、平成27年度の訪問対象乳児人数は前年比7%増の814人となった。内、769人の家庭訪問を実施。	
対象			活動指標	H27実績		公的関与	A		
特定の市民	対象数	814	全戸訪問対象者数	814.0		実施主体・委託化	B		
4か月までの乳児がいる家庭						他の事務事業との関連	A		
事業の内容						透明性	A		
4か月までの乳児がいる家庭を助産師等の専門職員により全戸訪問し、育児等に関する情報提供や指導を行う。H23年度4・5月は準備期間で6月から訪問開始。			成果指標	H27実績		財政健全化計画	該当なし		
			訪問指導人数	769.0		財政健全化の取組	該当なし		
						改革改善プラン達成度	該当なし		
			コスト指標	H27実績					
事業の目的			訪問一人あたりのコスト	8,031.0					
子育てに悩む親の支援を行い虐待予防や早期発見につなげる。									